



新潟県上越市

担当課: すこやかなくらし包括支援センター
 〒943-0892
 新潟県上越市寺町2丁目20番1号
 福祉交流プラザ2階
 電話: 025-526-5623 FAX: 025-523-1218
 Eメール: sukoyaka@city.joetsu.lg.jp

本市のデータ

(1)面積 973.89km²(平成30年10月1日現在)

(2)人口と世帯数

	平成17年	平成22年	平成27年	令和元年10月1日現在
人口(人)	208,082人	203,899人	196,987人	191,563人
世帯数(世帯)	69,160世帯	71,477世帯	71,015世帯	75,881世帯
世帯人員(人/世帯)	3.01	2.85	2.77	2.52

出典: 国勢調査(令和元年10月1日現在のデータのみ、住民基本台帳)

(4)産業

	平成22年	
第1次産業	5,271人	5.30%
第2次産業	29,807人	29.9%
第3次産業	61,771人	62.00%
分類不能	2,768人	2.8%
総数	99,617人	100.00%

出典: 国勢調査

(3)沿革

平成17年1月1日

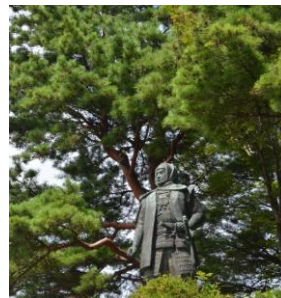
14の市町村(上越市、安塚町、浦川原村、大島村、牧村、柿崎町、大潟町、頸城村、吉川町、中郷村、板倉町、清里村、三和村、名立町)の合併が実現し、21万都市が誕生しました。

本市の概要

上越市は、新潟県の南西部、北信越地域の中央に位置しています。市域の中央に流れる関川沿いにあけた平野部を山間部と海岸部が囲み、変化にとんだ地形と式折々の美しい自然の中で、20万人の市民が暮らしを営んでいます。

古くから交通の要衝として栄えてきた上越市には、重要港湾の直江津港をはじめ、陸路として北陸自動車道が走り、平成27年3月には北陸新幹線が開業しました。

さらに、JR信越本線、ほくほく線、妙高はねうまライン、日本海ひすいラインの鉄道網も整備され、地域内の往来や近隣地域との交流を支えています。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

平成30年3月 「上越市自殺予防対策推進計画」を策定(平成30年度から5年間)

<基本計画> 誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現

- <基本方針> ①自殺ハイリスク者の状況に応じた効果的な対策を推進する
 ②地域で生きることへの包括的な支援を推進する
 ③ライフステージ別の課題に応じた効果的な対策を推進する

計画では、自殺予防対策の本質を「生きることへの支援」と捉え、自殺のリスクとなる要因をできるだけ減少させるとともに、市民の自殺予防対策に対する理解と関心を深め、地域全体で一人でも多くの命を救うことを目指すものとしている。

<具体的な取組み>

平成26年度

各地区での「気づき・傾聴・つなぐ・見守る」体制づくり活動を開始

平成29年度

平成30年3月「上越市自殺予防対策推進計画」の策定

令和元年度

①ラジオ(FM-J)での自殺予防や相談窓口等の情報発信

令和元年8月29日放送。令和2年3月2日放送予定。

②市の広報(広報上越)への自殺予防や相談窓口等の情報掲載

令和元年9月1日号掲載。令和2年3月1日号掲載予定。

③店舗での自殺予防、相談窓口のパンフレット等配布

令和元年9月3日 イオン上越店にて自殺予防対策街頭キャンペーンを実施。

④自死遺族支援リーフレットの改訂

⑤民生委員・児童委員等への自殺予防研修

令和元年9月11日三和区で実施。令和元年10月17日に吉川区で実施予定。

⑥高齢者向けのこころの健康講座(すこやかに老いるための市民啓発講座)

全4回の講座となっている。6月～12月に各地区で実施中。

⑦地域への体制づくり活動の実施

各地区で随時実施中。

⑧地域へのこころの健康づくり講演会

令和2年2月～3月中旬に実施予定。

⑨地域住民への自殺予防講座

時期未定

⑩相談対応者向け自殺予防講座

時期未定